

## 平成 25 年度第 1 回白井市立図書館協議会（概要）

1. 開催日時 平成 25 年 4 月 25 日（木）15：30～17：30
2. 開催場所 白井市立図書館 2 階 研修室 2
3. 出席者 委員 吉井会長、吉田副会長、水崎委員、中澤委員、田中委員、佐藤委員、高花委員  
事務局 黒澤文化課長 黒澤図書館長、森山副主幹 鎌田主査、内山主査  
欠席者 なし
4. 傍聴者 なし
5. 報告 (1) 平成 24 年度主要事業結果  
(2) 平成 24 年度図書館資料購入実績  
(3) 平成 24 年度図書館資料除籍実績  
(4) 平成 25 年度主要事業計画  
(5) 平成 25 年度図書館費  
(6) 平成 25 年度図書館資料購入計画  
(7) 事業仕分け結果後の夜間開館について
6. 議題 図書館満足度調査について
7. 議事 以下のとおり

事務局	平成 25 年度第 1 回図書館協議会を開催する。
会長	あいさつ このメンバーで最後の会議となった。市民と行政が協働で作りあげてきたこの図書館協議会のよい流れを次のメンバーに引き継ぎたい。いつものスタイルで、皆様の活発なご意見を伺いながら進めていきたい。
事務局	(1) ～ (6) まで資料に基づき報告。
会長	平成 22～24 年度貸出点数比較の表について。 図書館全体の貸出数が減少する中で、利用の内訳が変化して個人貸出よりも学校や相互協力の貸出の割合が伸びているそうだが、関連機関と団体の違いを教えてください。
事務局	関連機関は市役所関係、団体は市内の登録団体である。
会長	事業仕分けで登録率が低いとの指摘があるようだが、学校や関連機関への貸出も市全体へのサービスと考えるべき。これを仕分け人にうまく説明できるとよい。
委員	平成 24 年度主要事業報告について。 職業体験と高校生のインターンシップの違いはあるのか。また、インターンシップは全ての高校で単位に必要なのだろうか。

事務局	職業体験とインターンシップの体験作業に大きな違いはないが、インターンシップの方が一つの作業にたいしてより深い説明や体験ができるようになっている。
委員	インターンシップは、希望者のみと聞いている。 白井市は早くから中学2年生が職業体験を行い、立春式でその発表を行っている。最近ではキャリア教育の一環として、小学6年生の「ゆめ・仕事ぴったり体験」を千葉県全域で行っており、これは児童全員が参加してどんな仕事なのかを見てくることが中心である。
事務局	今年度、大山口中で図書館職員が「職業人として」という題で中学生に話をすることになっている。
委員	平成24年度事業報告について。 ボランティアの「土曜おはなし会」ものせて欲しい。 いままでは午後3時に開催していたが、子どもがいないことが多いので、平成25年度は、夏休みの午前中に開催する予定である。
委員	職業体験について。 小・中学生を受け入れる仕事の現場は、大変だと思う。しかし、子供にとっては貴重な体験なので、ぜひ続けて欲しい。最初は暗かった中学生の顔色が、体験を通して変わっていく姿を実感している。体験は必ず心に残る。
委員	西白井ベリーフィールドの人口が増えている。職業体験を希望する生徒も今とは比べられないほど多くなってしまったら困らないか。
委員	中学校間で集中することがないよう時期を調整している。 小学校は、遠くない場所を選んでいる。
委員	平成25年度主要事業計画について。 録音図書の製作はここ数年希望がないと聞いている。音訳者として委嘱されて、白井の図書館で行われた研修にも参加した。ただ、カセットから記録媒体が変わった時期に少し講習を受けただけなので、急に依頼されても不安である。引き続き勉強したいが、講習の計画はないのか。
事務局	図書館での講習は技術の習得がひとまずできた、ということで終了した。 職員が県主催による障害者サービスに必要なパソコン機器の講習を受けているので、要望が出てきた時に委嘱した音訳者の方たちにも相談し、対応方法を検討したいと考えている。

委員	平成 25 年度のブックスタートについて。 ブックスタートの会場ですぐに図書館利用カードを作れて、準備しておいた本を貸出ができるとういと思う。
事務局	現在は月 2 回実施している。検討していきたい。
委員	絵本の配本がなくなっても、絵本の読み聞かせを聞いてから帰宅してくれる親子も多い。
会長	配本は無くなってもブックスタートの精神は生きていると思う。会場でカードをつくり、すぐに利用者をつかむ、というのは新規登録者を増やす良いアイディアだと思う。
委員	ブックスタートの会場へは多くの本を持参できないし、図書館には本がたくさんある。保健福祉センターから図書館は近いので、「行ってみて」とすすめることも良いのではないかなと思う。
委員	会場に来た若いご両親の意見も伺ってみてはどうか。今年度からブックスタートの形が変わった。続けながら、やり方を変えてみてもよいのではないかな。
委員	7 ヶ月ぐらいになると子どもによっては、絵本に興味が出てくる。ご両親に「今のうちに利用カードを作っておくと便利ですよ」という紹介をしてもよいと思う。
委員	図書館の案内をするときに、乳母車で入館できることを伝えている。
委員	桜台センター図書室について。 紙芝居の展示がよかった。紙芝居は古臭いイメージがあったが、中身の見えるよう工夫した展示で身近に感じられた。
事務局	紙芝居は高齢者にも人気があり、静かなブームだと感じている。
委員	新学期に入り、6 年生が 1 年生に紙芝居を読んでいる。学校の紙芝居はとても古いので、図書館の紙芝居を学校へも貸出してもらえるか。
事務局	学校へは 1 クラス 300 冊貸出できる。
委員	平成 25 年度図書館費当初予算について。 研修旅費の項目があるが、どんな所へ出張するのか？
事務局	千葉県立図書館主催の研修会に参加している。一部国会図書館主催の研修会にも

	参加している。
会長	平成 25 年度図書館資料購入計画について 新着図書情報をチェックすると旅行ガイドの購入が多いように思う。よく利用されているのか。
事務局	人気がある。一人の利用者が同じ旅行先のガイドを数種類借りていくため、毎年できるだけ多くの出版社のものを補充している。
委員	平成 25 年度は視聴覚資料の購入を増やすということだが、音楽CDか朗読のCDか。また、図書の購入の仕方は、年間予算を月毎に振り分けて購入しているのか。
事務局	録音図書と音楽CDは、利用状況を見ながら、バランスを考え購入していく予定である。図書は、書店の新刊情報や現物を見ながら新刊書を中心に購入しており、月毎に決まった金額を割り振っているわけではない。 なお、児童書は新刊書が3割から4割程度。残りの6割は買い替えや学校の授業で使えると思われる資料を購入している。
事務局	購入は職員がカウンターでの利用者の方の声や経験に基づいて行っている。今まで計画的に購入できており、年度途中で予算が不足するということはない。
事務局	(7) 事業仕分け結果後の夜間開館について説明。
委員	夜間開館時間には、こういった層の来館者が多いのか。また、防犯上の心配はあるか。
事務局	仕事帰りの方、雑誌や新聞目当ての方、市外の利用者が多いように感じている。
事務局	男性職員を要望しており、今年度、1名が配属され2名になった。夕方5時以降は夜間警備が見回りをしている。また、職員の危機対応マニュアルの整備や研修を行っている。
委員	防犯カメラはついているか。
事務局	盗難も多かったので検討したが、予算とプライバシーの問題で断念した。
会長	出入り口だけでもつけたらよいのではないかと。抑止効果があるのではないかと。
委員	防犯カメラの設置は今の時代必須ではないだろうか。夜間開館について他のデメリットは何かあるか。

事務局	<p>4月から、午後5時から午後7時までをシルバー職員による委託をやめて、職員と非常勤職員による時差出勤で対応している。</p> <p>朝の開館準備や職員による打ち合わせができないなどの支障がないか様子を見ている。以前は9時開館の要望もあったが、退職者はゆっくり来館されて新聞や雑誌を館内で読まれている方が多く、現状の9時半開館で安定しており、開館準備も何とか間に合っている。非常勤職員にも助けられてスムーズに移行しており、まだ始まったばかりであるが、今年度は試行のため10月の予算編成の時期までには結論を出す必要があり、今の体制でやっていけるのではないかと考えている。</p>
事務局	6. 議題 満足度調査について説明。
会長	満足度の目標値をどのぐらいに設定しているのか。
事務局	<p>市が平成21年度に実施した「住民意識調査」では、図書館は満足度がトップであった。</p> <p>事業仕分けによって、市民の半分しか登録がない。登録率を上げる工夫が必要ではないか。また、図書館の目指す方向性が明確でない、という指摘があった。それを受けて、まず市役所職員へのアンケートを行った。今年度は図書館利用者への満足度調査を行う予定。次に、利用していない市民へのアンケートができればと考えている。アンケートの結果を受けて、業務に反映していきたいと考えている。</p>
会長	<p>図書館には最新情報センターとしての機能も期待している。</p> <p>また、情報は与えられるだけのものではなく、自分から積極的に求めてゆくものでもあると思う。</p> <p>白井市立図書館が受け皿としての機能を充実させていることを事業仕分けの際には大いに強調してほしい。</p>
委員	<p>高齢化時代になって図書館に来館することが難しい利用者が増えてきている。経営方針も進化していかないといけないのではないか。以前廃止した、移動図書館車を動かすなどの工夫が必要だと思う。敬老会などへの出張サービスなども検討してはどうか。</p>
委員	登録率は待っているだけではあがらないので、工夫が必要と思う。
委員	小学校の入学式にカードを作りに行くのもよいのではないか。
委員	今年度から読書活動推進補助教員として市内全小中学校14校に配置された。図書主任教諭とともに、言語活動の充実につとめていきたいと考えている。この配置は

	<p>県内でも先進的な事例である。白井の小学生 89.7%が白井市の図書館カードを作っている。人の配置により、以前にも増して学校と公立図書館が太いパイプでつながった。また、学校図書館の予算はわずかである。そのてん公立図書館に予算面でもバックアップしていただきありがたい。</p>
事務局	<p>委員の皆様いただいたご意見を参考に、市民の生活に役立つ図書館経営を心がけていきたい。</p>
事務局	<p>白井文化センターの敷地 3 万 6 千㎡と隣接する 4 万 2 千㎡は総合公園となっており、隣地は 25 年 3 月末までに整備される。人の流れが変わり利用が増えるのではないかと考えている。</p>
会長	<p>日常的なアイデアを図書館の職員の皆さんに伝えていきたい。そしていつまでもつながっていければよいと思う。お疲れ様でした。</p>
事務局	<p>長時間にわたりありがとうございました。</p>